## カルタヘナ法に基づき第一種使用規程を承認した遺伝子組換えカイコ一覧(承認順) (平成29年9月22日現在)

カルタヘナ法(遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律(平成15年法律第97号))に基づき、生物多様性影響が生ずるおそれがないものとして環境大臣及び農林水産大臣が第一種使用規程を承認した遺伝子組換えカイコは以下のとおりです。

一種使用規程を承認した遺伝子組換えカイコは以下のとおりです。				
			第一種使用等	
生物名	番号	名称及び承認取得者	の主な内容	承認日
カイコ	1	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(HC-EGFP,	隔離飼育区画で	2014年5月2日
		Bombyx mori)(HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200)	の試験等	(使用期間: 2014.
		【国立研究開発法人農業·食品産業技術総合研究機構】		5.2 ~ 2017.3.31)
	2	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(HC-EGFP,	群馬県蚕糸技術	2015年5月25日
		Bombyx mori) (HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200)	センターにおける	(使用期間∶2015.
		[国立研究開発法人農業·食品産業技術総合研究機構、群	隔離飼育区画で	5.25 ~ 2020.3.31)
		馬県蚕糸技術センター】	の試験等	
	3	橙色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ( <i>HC-mKO</i> ,	群馬県蚕糸技術	2016年4月27日
		Bombyx mori) (GN2×GCS2) [国立研究開発法人農業	センターにおける	(使用期間:2016.
		・食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術センター	隔離飼育区画で	4.27 ~ 2021.3.31)
		1	の試験等	
	4	青色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ( <i>HC-Sirius</i> ,	群馬県蚕糸技術	2016年4月27日
		Bombyx mori) (GN13×GCS13)【国立研究開発法人	センターにおける	(使用期間:2016.
		農業·食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技術	隔離飼育区画で	4.27 ~ 2021.3.31)
		センター】	の試験等	
	5	高染色性絹糸生産カイコ(改変 <i>Fibroin H, Bombyx</i>	隔離飼育区画で	2016年5月25日
		<i>mori</i> ) (中515号×GCS500) [国立研究開発法人農業・	の試験等	(使用期間∶2016.
		食品産業技術総合研究機構		5.25 ~ 2021.3.31)
	6	高染色性絹糸生産カイコ(改変 Fibroin H, Bombyx	群馬県蚕糸技術	2016年5月25日
		<i>mori</i> ) (中 515 号×GCS500) 【国立研究開発法人	センターにおける	(使用期間∶2016.
		農業·食品産業技術総合研究機構、群馬県蚕糸技	隔離飼育区画で	5.25 ~ 2021.3.31)
		術センター〕	の試験等	
	7	緑色蛍光タンパク質含有絹糸生産カイコ(HC-EGFP、	カイコの繭糸の生	2017年9月22日
		Bombyx mori) (HC-EGFP ぐんま、HC-EGFP 200、	産のための、一般	
		HC-EGFPぐんま×HC-EGFP 200) 【国立研究開発法	使用に係る3齢幼	
		人農業·食品産業技術総合研究機構】	虫期以降の飼育	
			及び繭の生産・加	
			工等	
	7		7	
	十二	はは タロロックシール数ナニオナックオ		

注:表の最下欄の値は、各項目の合計件数を示すものです。

参考:承認した遺伝子組換え昆虫に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、 学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報 (http://www.biodic.go.jp/bch/bch\_3.html)から検索できます。